

らくらく学校図書館 FM の Q and A

有限会社シンシステムデザイン

1. システム全般について

“らくらく学校図書館”との違いは？

- ・ “らくらく学校図書館 FM”は Windows パソコンでも Mac パソコンでも運用できます。
- ・ 図書館ソフトとしての基本的な仕様はほぼ同じですが、FileMaker プラットフォームを使用していますので、アプリで用意した以外のデータベース操作も可能になっています。
- ・ FileMaker Server でも運用できます。

iPhone や iPad も活用できますか？

ネットワークの環境であれば iPad や iPhone でも使用できます。ただし、Android 系のスマホやタブレットでは使用できません。Windows タブレットは確認していませんが使用できるはずです。

具体的にはどのような活用ができますか。

- ・ iPhone では iPhone のカメラ機能を使って図書登録が出来ます。
- ・ また、蔵書点検も iPhone で出来ます。
- ・ iPad ではほぼデスクトップと同じような操作ができますので、図書の貸出処理や図書検索などの専用端末として使用できます。
- ・ FileMaker の仕様により同時接続は最大 5 台です。ただし、FileMaker server を使えばこの制限はほぼ無くなります。

図書貸出や図書検索など専用ソフトが見つかりませんが、

- ・ Windows 版の学校図書館ソフトは本体のソフトの他に“図書貸出”、“図書検索”、“図書点検”の三つのソフトが必要でした。
- ・ “らくらく学校図書館 FM”ではこのアプリの中に全て収めましたので別途用意する必要はありません。特にソフトのバージョンアップの際には本体プログラムのバージョンアップだけで済みます。
- ・ 使い方は別途マニュアルで説明していますが、ログイン時にあらかじめ約束したパスワードを入れることにより“図書貸出”や“図書検索”のプログラムになります。

2. パソコンでの管理が初めての方への Q & A

パソコンを使うメリットは？

- ・ 手作業で行う図書館運営は、
図書の受入⇒ 図書台帳への記入⇒ 貸出カード・検索カードの作成などの一連の作業が必要です。
図書の貸出や返却は貸出カードに基づいて行い、必要に応じて“貸出日報”や“返却日報”などの作成も手作業になります。
また、蔵書点検も図書台帳に基づいて照合しながら確認していきます。
- ・ それに対して“図書館”管理ソフトを使うと、
図書の受入⇒ データ登録 のみで図書に関する受入作業は完了です。利用者（生徒や職員）の登録はあらかじめ用意した Excel ファイルの読込で出来ます。

“らくらく図書館”はどのようなことができますか？

- ・ 学校図書館での基本業務は受け入れた図書の管理、図書の貸出、図書の検索及び図書の管理に必要な各種台帳の作成や統計資料などです。
- ・ コンピュータ管理の利点はデータの一元管理ができることで、その元となるデータは登録した図書と利用者のデータです。

図書の貸出や返却はどのようなイメージで理解すれば良いですか？

- ・ レンタルビデオショップとほぼ同じと考えてください。
利用者の登録番号と図書番号をバーコードリーダーで読み取ると貸出が出来ます。
図書の返却は返却された図書の登録番号を読み取るだけです。
- ・ このような作業を行うと自動的に貸出簿が管理されますので、必要に応じて貸出日報や返却日報もすぐ印刷できます。

図書の登録がたいへんそうですが？

- ・ 確かに図書の登録は手作業で図書台帳に記入する作業と大きな違いはありません。
しかし“らくらく学校図書館”では、あらかじめ図書に添付した**図書番号**と書籍の裏表紙に印刷された **ISBN コード**をバーコードリーダーで読み取るだけで図書登録が出来ます。
- ・ 図書データの引当につて、
弊社では平成 25 年 6 月に国会図書から公益目的に限り API サービスを使って国会図書館のデータを無償で取得する許可を得ています。
また、“楽天ブックス”も同様な書誌データの引当申請を行なっています。
いずれも図書データを取得するための費用はありません。

図書の貸出予約もできますか？

- ・ もちろん出来ます。予約できる場所は図書の“検索画面”や“貸出・返却”画面から予約ができます。
- ・ 特に“貸出・返却”画面での予約は、“利用者かの予約”と“図書からの予約”ができるようになっていますがこの違いは、一人の利用者が複数の図書を予約するとき、一冊の人気図書を複数の利用者が予約するときなどに便利です。

図書の検索は？

- ・ 図書館ソフトを使わない図書館では、図書の検索ボックスにある図書カードから目的の図書を検索します。
- ・ パソコン管理の図書館では“検索ボックス”にキーワードを入れるだけで図書の検索リストが瞬時に表示されますのでとても便利です。
- ・ “らくらく図書館 FM”ではインターネット検索とほぼ同じようなこと感覚で検索できます。

管理資料や運用資料が作成できますか？

- ・ 通常手作業では“図書台帳”のみですが、“らくらく学校図書館”では、通常の台帳の他に図書分類コード別の台帳、購入財源別の台帳が作成できます。
- ・ 管理運営資料としては、図書分類コード別、保管場所別、財源別と過去10年間の登録年度別のクロス集計（冊数と金額）ができますので、図書の充足状況の把握や次年度の購入計画などの参考資料になります。
- ・ また、図書の貸出ランキング表や学年・クラス別の図書の貸出数統計も作成出来ます。